



第38回「地方の時代」映像祭2018

「地方の時代」映像祭フォーラム in メイシアター

6月20日(水) ▶ 22日(金)

地域からの映像発信をテーマとする「地方の時代」映像祭。今年もメイシアターを会場に、話題作品の上映とトークを行う恒例のフォーラムを開催します。入場は無料です。皆様のご参加をお待ちしております。

■ 6月20日(水) 14:00~17:30 「変わる自衛隊 ～民間人と戦争の距離～」

【上映作品】「防衛フェリー ～民間船と戦争～」(名古屋テレビ放送)

「木魚とライフル ～広がる自衛隊の民間人活用～」(名古屋テレビ放送)

集団的自衛権容認で自衛隊はどう変わるのか。民間船の活用や予備自衛官補制度など、民間人と戦争の距離について考えます。

- ゲスト/柿山 朗さん(戦没船を記録する会理事)、村瀬 史憲さん(名古屋テレビ放送)、依田 恵美子さん(名古屋テレビ放送)
- 司 会/高作 正博さん(関西大学法学部教授)

■ 6月21日(木) 14:00~17:30 「蘇る太陽の塔 ～岡本太郎と縄文、そして民博へ～」

【上映作品】「蘇る太陽の塔 ～“閉塞する日本人”へのメッセージ～」(NHK)

今年、リニューアルされ内部が公開された太陽の塔。作者・岡本太郎が伝えようとしたものは何だったのか。現代人が取り戻すべき“生命の原点”を探ります。

- ゲスト/石毛 直道さん(国立民族学博物館名誉教授)、中牧 弘允さん(吹田市立博物館館長)、井上 恭介さん(NHK)
- 司 会/早乙女 賢治さん(吹田市立博物館学芸員)

■ 6月22日(金) 14:00~17:30 「私たちが見た戦争の現場 ～女性ジャーナリストの視線～」

【上映作品】「戦火を逃れ生きる子どもたち」(フォト・レポート)

「イスラム国」に引き裂かれた絆 ～日本人記者が追った6年～(朝日放送テレビ)

戦争の犠牲者となるのは常に弱者。イラク・シリアを取材し続けてきた2人の女性ジャーナリストが、レンズを通して見た現地の実情を報告します。

- ゲスト/安田 菜津紀さん(フォトジャーナリスト)、玉本 英子さん(アジアプレス)
- 司 会/村田 麻里子さん(関西大学社会学部教授)

《会場詳細》

吹田市文化会館 メイシアター 小ホール

吹田市泉町2-29-1(阪急千里線「吹田」駅前) TEL.06-6380-2221

事前申し込みは不要です。直接会場へお越しください。

※収容人数を超える場合は先着順とさせていただきます。

※上記内容は変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。



入場
無料

【主催】「地方の時代」映像祭実行委員会(日本放送協会/日本民間放送連盟/日本ケーブルテレビ連盟/吹田市/関西大学)
 【共催】株式会社毎日放送/朝日放送テレビ株式会社/関西テレビ放送株式会社/讀賣テレビ放送株式会社/テレビ大阪株式会社
 【お問い合わせ】「地方の時代」映像祭実行委員会事務局
 〒530-0054 大阪市北区南森町1-4-19 サウスホストビル10F
 TEL.06-6363-3874(代表)
 E-MAIL.info@chihounojidai.jp URL.http://www.chihounojidai.jp

「地方の時代」映像祭
THE AGE OF REGIONALISM VIDEO FESTIVAL